

第4回 湖南省文化財保存活用地域計画策定協議会

アンケートおよびワークショップについて

<目次>

1. 一般、小中学生アンケートについて

- (1) アンケート概要
- (2) 湖南省の歴史文化に対する意識調査
- (3) 文化財を管理するうえでの課題調査
- (4) 文化財を活用するうえでの課題調査

2. 管理者アンケートについて

- (1) アンケート概要
- (2) 文化財を管理するうえでの課題調査
- (3) 文化財を活用するうえでの課題調査

3. 地域代表者について

- (1) アンケート概要
- (2) 文化財を管理するうえでの課題調査

4. ワークショップ

- (1) ワークショップ概要について
- (2) 結果を受けて

(1) アンケート概要

1. 一般、小中学生アンケートについて

調査概要	アンケート調査の対象の方		
	一般	中学校 2 年生	小学校 5 年生
実施期間	令和 7 年（2025 年） 7 月 11 日(金)～8 月 20 日(水)	令和 7 年（2025 年） 9 月 1 日(月)～9 月 12 日(金)	
調査方法	WEB 回答および紙媒体	学校配布端末による WEB 回答	
配布数	東西庁舎、各まちづくりセンターに配架、 市広報誌等で周知	475 人	484 人
有効回答数	295 人	336 人	401 人
回収率	—	70.7%	82.9%

(2) 湖南省の歴史文化に対する意識調査

1. 一般、小中学生アンケートについて

○一般

・多くの人が歴史文化自然に興味関心があり、また、大切な宝物、未来に伝えていくべきもの等のポジティブなイメージをもっていることがわかりました。一方で、歴史・文化・自然に「湖南省らしさ」を感じていないと考えられます。

○中学生

・興味関心は半々でした。興味関心がない理由では「身近にない」の割合が低く、また、未来に伝えていくべきものとの認識はあるが、自慢できるものとの認識が低くなっていることから、「湖南省の歴史文化自然は少なくとも身近な存在であって大切なもの」と認識されるが、これが「外向けに誇れる湖南省らしさや魅力」であるとの認識は低いと考えられます。

○小学生

・多くの人が歴史文化自然に興味関心があり、また、大切な宝物、未来に伝えていくべきもの等のポジティブなイメージをもっていることがわかりました。一方で、歴史・文化・自然を自慢できるものとの認識は低くなっていることから、中学生と同様に、「湖南省の歴史文化自然は少なくとも身近な存在であって大切なもの」と認識されるが、これが「外向けに誇れる湖南省らしさや魅力」であるとの認識は低いと考えられます。

(2) 湖南省の歴史文化に対する意識調査

1. 一般、小中学生アンケートについて

○まとめ

一般、中学生、小学生と多くの人が歴史・文化・自然に興味関心をもっていますが、交友関係、活動範囲が広がる中学生では、その興味関心が薄れることが考えられます。

また、小中学生では湖南省の歴史・文化・自然は大切な宝物であり、未来に伝えていくべきもののとの認識はあるが、これが「外向けに誇れるものである」との認識は低いことが考えられ、一般においては歴史文化自然に湖南省らしさを感じていないことが考えられます。

この結果をうけて・・・

多くの人に湖南省の文化財の魅力やその価値を共有するために

- ・文化財の把握調査を推進
- ・文化財の現状調査や新たな価値を見出すための調査研究を推進
- ・情報発信の強化
- ・文化財講座等の事業を展開し、文化財の価値や魅力を発信

(3)文化財を管理するうえでの課題調査

1. 一般、小中学生アンケートについて

○一般

・多くの人が清掃活動やイベント参加、お祭りへの参加を通じて歴史・文化・自然を大切にしていきたいと考えていることがわかりました。しかし、**管理者不足、維持管理費用不足等の懸念事項や市の取組みが不十分**であると考えています。

○中学生

・清掃活動やお祭り等の参加を通じて歴史・文化・自然を大切にしていきたいと考えていることがわかりました。一方で、勉強としての歴史文化に対する苦手意識や「勉強会」といった言葉のイメージから「勉強会等の参加」の数字が低くなったと考えられます。

○小学生

・中学生と同様に、清掃活動やお祭り等の参加を通じて歴史・文化・自然を大切にしていきたいと考えていることがわかりました。一方で、勉強としての歴史文化に対する苦手意識や「勉強会」といった言葉のイメージから「勉強会等の参加」の数字が低くなったと考えられます。

(3)文化財を管理するうえでの課題調査

1. 一般、小中学生アンケートについて

○まとめ

- ・多くの人が清掃活動やイベントへの参加を通じて、歴史・文化・自然を大切にしていきたいと考えていることがわかりました。
- ・しかし、管理者不足、維持管理費用の不足や市の取組みが不十分であるとの意見がありました。



この結果をうけて・・・

文化財を適切に保存管理していくために

- ・文化財の把握調査の推進
- ・文化財の現状調査や新たな価値を見出すための調査研究の推進
- ・文化財講座等の事業を展開し、文化財の価値や魅力を発信
- ・文化財保護行政の体制強化
- ・所有者等の経済的負担を減らすための財源確保

(4)文化財を活用するうえでの課題調査

1. 一般、小中学生アンケートについて

○一般

・歴史文化自然を大切にするうえで不足していることとして、「市職員の現状把握不足」、「文化財に関する担当は形式的なものに思える」「行政の取組みが弱い」といった市の体制が不十分であるとの意見があげられます。

○中学生・小学生

・先に述べたように、清掃活動やお祭り等の参加を通じて歴史・文化・自然を大切にしていきたいと考えていることがわかりました。一方で、勉強としての歴史文化に対する苦手意識や「勉強会」といった言葉のイメージから「勉強会等の参加」の数字が低くなったと考えられます。

(4)文化財を活用するうえでの課題調査

1. 一般、小中学生アンケートについて

○まとめ

- ・(3)のまとめと同様に、多くの人が清掃活動やイベントへの参加を通じて、歴史・文化・自然を大切にしていきたいと考えていることがわかりました。
- ・しかし、管理者不足、維持管理費用の不足や市の取組みが不十分であるとの意見がありました。
- ・特に、行政の文化財保護に対する意識が低いとの指摘が多くありました。

この結果をうけて・・・
文化財を活用していくために

- ・文化財の把握調査の推進
- ・文化財の現状調査や新たな価値を見出すための調査研究の推進
- ・文化財講座等の事業を展開し、文化財の価値や魅力を発信
- ・文化財保護行政の体制強化
- ・湖南市立東海道石部宿歴史民俗資料館の整備

第4回 湖南省文化財保存活用地域計画策定協議会

アンケートおよびワークショップについて

<目次>

1. 一般、小中学生アンケートについて

- (1) アンケート概要
- (2) 湖南省の歴史文化に対する意識調査
- (3) 文化財を管理するうえでの課題調査
- (4) 文化財を活用するうえでの課題調査

2. 管理者アンケートについて

- (1) アンケート概要
- (2) 文化財を管理するうえでの課題調査
- (3) 文化財を活用するうえでの課題調査

3. 地域代表者について

- (1) アンケート概要
- (2) 文化財を管理するうえでの課題調査

4. ワークショップ

- (1) ワークショップ概要について
- (2) 結果を受けて

(1) アンケート概要

2. 管理者アンケートについて

調査概要	アンケート調査の対象の方
	国等指定文化財の管理者
実施期間	7月11日（金）～8月20日（水）
調査方法	WEB 回答および紙媒体
	国等指定文化財の所有者、管理者に用紙を郵送
配布数	41 件
有効回答数	23 件
回収率	56.1%

(2)文化財を管理するうえでの課題調査

2. 管理者アンケートについて

○管理者

- ・修繕に必要な資金の確保、防災・防犯対策が困難であると考えておられます。
- ・また、行政からの補助については、同様に、修繕、防災、防犯に対して補助を希望する割合が高く、日常管理に要する費用よりも、高額な費用を要するものに対して補助を希望していることがわかります。



この結果を踏まえ・・・
文化財を適切に管理していくために

- ・経済的負担を軽減するための財源確保
- ・行政の補助制度の周知

(3)文化財を活用するうえでの課題調査

2. 管理者アンケートについて

○管理者

- ・多くが文化財を活用したいと考えており、これまで見学会などの受け入れを行っておられます。
- ・また、今後どのように文化財を活用したいかとの質問には、これまでと同様に見学会の受入れ、地域活動の場、その他に学校教育の受入れやSNS等での発信を通して活用したいと考えておられます。
- ・一方で、文化財の損耗劣化が不安、盗難やイタズラ、拝観のマナーを懸念する声もあります。



この結果をうけて・・・
文化財を活用していくために

- ・文化財の現状調査や新たな価値を見出すための調査研究の推進
- ・文化財の防災防犯対策を充実
- ・解説板の新設、更新

第4回 湖南省文化財保存活用地域計画策定協議会

アンケートおよびワークショップについて

<目次>

1. 一般、小中学生アンケートについて

- (1) アンケート概要
- (2) 湖南省の歴史文化に対する意識調査
- (3) 文化財を管理するうえでの課題調査
- (4) 文化財を活用するうえでの課題調査

2. 管理者アンケートについて

- (1) アンケート概要
- (2) 文化財を管理するうえでの課題調査
- (3) 文化財を活用するうえでの課題調査

3. 地域代表者について

- (1) アンケート概要
- (2) 文化財を管理するうえでの課題調査

4. ワークショップ

- (1) ワークショップ概要について
- (2) 結果を受けて

(1) アンケート概要について

3. 地域代表者アンケートについて

調査概要	アンケート調査の対象の方
	まちづくり協議会長、区長
実施期間	7月11日（金）～8月20日（水）
調査方法	WEB 回答および紙媒体 7月の地域代表者会議において説明、用紙の配布
配布数	50
有効回答数	9
回収率	18.0%

(2)文化財を管理するうえでの課題調査

3. 地域代表者アンケートについて

○地域代表者

- ・地域では「お寺や神社、お堂、ほこら」「地域のお祭りとその用具」を管理している例があり、**日常管理や用具の補修・新調**をされています。
- ・しかし、**担い手の高齢化や人材不足、管理するための資金確保が困難**であると感じておられます。
- ・行政に対して、財政的な支援を望む声があげられます。

この結果をうけて・・・
文化財を適切に管理していくために

- ・経済的負担を軽減するための財源確保
- ・行政の補助制度の周知
- ・文化財の現状調査や新たな価値を見出すための調査研究の推進
- ・文化財講座等の事業を展開し、文化財の価値や魅力を発信

第4回 湖南省文化財保存活用地域計画策定協議会

アンケートおよびワークショップについて

<目次>

1. 一般、小中学生アンケートについて

- (1) アンケート概要
- (2) 湖南省の歴史文化に対する意識調査
- (3) 文化財を管理するうえでの課題調査
- (4) 文化財を活用するうえでの課題調査

2. 管理者アンケートについて

- (1) アンケート概要
- (2) 文化財を管理するうえでの課題調査
- (3) 文化財を活用するうえでの課題調査

3. 地域代表者について

- (1) アンケート概要
- (2) 文化財を管理するうえでの課題調査

4. ワークショップについて

- (1) ワークショップ概要について
- (2) 結果を受けて

(1) ワークショップ概要

4. ワークショップについて

- ・「地域総がかり」で文化財の保存、活用を進める一環として、住民等と共に考え、意見を集約するためにワークショップを開催しました。
- ・ワークショップでは文化財講座や見学を経て、①地域に伝わる文化財、②後世に伝えていく上での課題、③課題の解決に向けてなどについて話し合いました。
- ・開催日等は下記のとおりです。

No.	地区	日程	場所	参加者
1	甲西北中学校区	7月13日（日）	菩提寺まちづくりセンター	12人
2	石部中学校区	7月19日（土）	こころの街角サロンいしべ宿駅	7人
3	日枝中学校区	8月16日（土）	下田まちづくりセンター	4人
4	甲西中学校区	9月7日（日）	夏見公民館	13人

(2) 各ワークショップについて

【甲西北中学校区(菩提寺まちづくりセンター)】

①地域に伝わる文化財

- ・伝統行事: サンヤレ祭り、花まつり
- ・史跡: 石多宝塔、三体地藏、閻魔像
- ・社寺: 西應寺、正念寺、菩提禅寺、八王子神社、斎神社など
- ・遺跡: 竜王山古墳、坂上田村麻呂関係資料
 - ※祖父: 犬養、父: 苅田麻呂の墳墓があったと伝わる
- ・菩提寺山関連: 龍王社、歴史の小路、霧降の滝など

②後世に伝えていく上での課題

・担い手の不足

行事の存続、有形文化財の管理ともに問題。少子高齢化のため継ぐものがない。
大人も祭りを知らず、意義を理解していないこともある。

・管理の問題

社寺や多宝塔、石仏など有形文化財については劣化や破損の恐れがある。

(2) 各ワークショップについて

4. ワークショップについて

【甲西北中学校区（菩提寺まちづくりセンター）】

③課題の解決に向けて

- ・資料室の活用、歴史公園作成など情報発信を充実させる。
- ・文化財の調査を行い、適切な記録を残すことで、記憶の風化を防ぐ
- ・次世代に引き継ぐためには現在担っている世代の意識改革も必要



この結果をうけて・・・

- ・文化財の現状調査や新たな価値を見出すための調査研究の推進
- ・文化財講座等の事業を展開し、文化財の価値や魅力を発信
- ・情報発信の強化

(2) 各ワークショップについて

【石部中学校区(こころの街角サロンいしべ宿駅)】

①地域に伝わる文化財

- ・石部宿関係：小島本陣跡、愛宕神社、旧建築(八幡屋)、鉤の手状の地形
- ・社寺：吉御子神社、吉姫神社、真明寺など
- ・東海道石部宿歴史民俗資料館：東海道や宿場関係の資料を保管、展示

②後世に伝えていく上での課題

・管理の問題

小島本陣跡が草が生えて整備されていない。

古い建造物が減ってきている。湖南省景観計画で古い街並みに配慮するようにとあるが、法的強制力をもたない。

・情報発信

資料館の利用が少ない

(2) 各ワークショップについて

4. ワークショップについて

【石部中学校区(こころの街角サロンいしべ宿駅)】

③課題の解決に向けて

- ・旧建築の保存として、古い建物を残したくなるような施策(所有者に補助金や感謝状をようなもの)
- ・教育、普及活動として、石部宿について子どもだけでなく、教師にも学んでもらう機会を作る
- ・ターゲットごとに情報発信のやり方を考える。市内には歴史講座や図書館との連携、市外には石部の特色をまとめた地図などの資料を宿駅などに展示。地元商店と協力して特産品を作る。
- ・資料館の活性化。宿駅などで出張展示、図書館に関連図書を置くなど人目につく工夫。

この結果をうけて・・・

- ・文化財の現状調査や新たな価値を見出すための調査研究の推進
- ・文化財講座等の事業を展開し、文化財の価値や魅力を発信
- ・教育委員会との連携強化
- ・湖南市立東海道石部宿歴史民俗資料館の整備
- ・文化財保護行政の体制強化

(2) 各ワークショップについて

【日枝中学校区(下田まちづくりセンター)】

①地域に伝わる文化財

- ・伝統工芸: 下田焼、正藍染
- ・名産品: 下田なす、弥平とうがらし
- ・寺社: 慶圓寺、日枝神社
- ・祭礼: お田植踊り

②後世に伝えていく上での課題

・担い手、後継者不足

特に伝統工芸について顕著。正藍染は残念ながら廃業された。

下田焼は現役であるが、陶房が東寺に移され、下田が発祥というアピールがほしい。

・地域外からの移住人口が多い

地域の昔の姿を知る人が減っている。

親世代が地元の歴史を知らないなので、子どもに伝えられない。

(2) 各ワークショップについて

4. ワークショップについて

【日枝中学校区(下田まちづくりセンター)】

③課題の解決に向けて

- ・伝統工芸の存続: 地域おこし協力隊等の外部の助力を得る
- ・魅力の発掘: 下田城跡などあまり知られていない文化財を見える化して地域の魅力に
- ・学校教育: 小学校での郷土学習。生徒だけでなく、先生も地域の歴史を知る
- ・まちづくりセンターの整備: 資料の整理や展示ができるような設備



この結果をうけて...

- ・文化財の現状調査や新たな価値を見出すための調査研究の推進
- ・文化財講座等の事業を展開し、文化財の価値や魅力を発信
- ・教育委員会との連携強化
- ・湖南市立東海道石部宿歴史民俗資料館の整備

(2) 各ワークショップについて

4. ワークショップについて

【甲西中学校区(夏見公民館)】

①地域に伝わる文化財

- ・社寺：夏見神社、観音寺、西往寺
- ・城跡：三雲城跡、夏見城跡
- ・隧道：大沙川隧道、由良谷川隧道
- ・その他：夏見の立場、弘法杉、天保義民、針文五郎の碑

②後世に伝えていく上での課題

- ・すばらしい文化財が多く残るが、情報発信が不十分
- ・子どもが歴史に触れる機会が少ない
- ・地元住民から隧道の撤去要望が市に提出されている

(2) 各ワークショップについて

4. ワークショップについて

【甲西中学校区(夏見公民館)】

③課題の解決に向けて

- ・まち歩きや体験などの参加型のイベントを企画し、地域の文化財に触れる
- ・企画タイトルを、気軽に参加できるようなわかりやすいキャッチコピーにする
- ・子どもを対象とした企画であれば、家族や友人を巻き込んで参加者を集めやすくなる
- ・湖南省夏祭りなどの人が多く集まる場所で情報発信
- ・湖南省観光協会のJRハイキングは参加者が多く、県外からも来てもらえるため、行政も協力してみてはどうか
- ・子どもが歴史に触れる機会を作る。菩提寺では地域学習が盛ん。行政も協力して学校教育に組み込めないか

この結果をうけて・・・

- ・文化財講座等の事業を展開し、文化財の価値や魅力を発信
- ・情報発信の強化
- ・教育委員会との連携強化